

2026年5月15日

各位

会社名 ソフトバンク株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川 潤一  
(コード番号: 9434 東証プライム市場)  
問合せ先 財務経理本部 本部長 小野口 亘  
(TEL. 03-6889-2000)

### 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、会社法第370条および当社定款第32条に基づき、2026年5月15日付で、以下の通り2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせします。

#### 1. 配当の内容

普通株式

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月8日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	4円30銭	同左	4円30銭
配当金総額	205,547百万円	—	204,539百万円
効力発生日	2026年6月2日	—	2025年6月12日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 第1回社債型種類株式

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月8日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	50円00銭	同左	50円00銭
配当金総額	1,500百万円	—	1,500百万円
効力発生日	2026年6月2日	—	2025年6月12日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 第2回社債型種類株式

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月8日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	128円00銭	同左	126円24銭(注1)
配当金総額	3,200百万円	—	3,156百万円
効力発生日	2026年6月2日	—	2025年6月12日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注1) 1株当たりの発行価格8,000円に固定配当年率3.200%を乗じた配当金に対し、1年を365日とする日割計算で算出しています。

## 2. 理由

当社は、中長期的に企業価値を高めるとともに、株主の皆さまに利益を還元していくことを重要な経営課題の一つとして位置付けています。企業価値の向上のために、5G SA(スタンドアローン)エリアの拡大などによる通信ネットワークの高度化のための設備投資を効率的に行うことに加え、AI関連事業やその他の新規事業への投資も継続して取り組んでいきます。配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針とし、業績動向、財政状態、キャッシュ・フローの状況などを総合的に勘案して安定性、継続性に配慮しながら実施していく方針です。

上記方針の下、2027年3月期から2031年3月期における中期経営計画においては、利益成長に合わせた普通株式1株当たり配当金の継続的な増配を目指します。

2026年3月期の期末配当については、当初予定通りの、普通株式1株当たり4円30銭、第1回社債型種類株式1株当たり50円、第2回社債型種類株式1株当たり128円にて実施することを決議しました。なお、次期の普通株式1株当たり配当金については、年間で8円80銭(うち中間配当金4円40銭、期末配当金4円40銭)を予定しています。また、第1回社債型種類株式、第2回社債型種類株式については所定の金額の配当を実施していきます。

(参考) 年間配当の内訳

普通株式

基準日	2025年3月期(注2)			2026年3月期		
	第2四半期末	期末	合計	第2四半期末	期末	合計
1株当たり配当金(円)	43円00銭	4円30銭	—	4円30銭	4円30銭	8円60銭

(注2) 2024年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。上記の2025年3月期については、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しています。合計については、当該株式分割の実施により単純合計ができないため、表示していません。なお、当該株式分割を実施しなかったと仮定した場合の年間配当金は86円です。

第1回社債型種類株式

基準日	2025年3月期			2026年3月期		
	第2四半期末	期末	合計	第2四半期末	期末	合計
1株当たり配当金(円)	50円00銭	50円00銭	100円00銭	50円00銭	50円00銭	100円00銭

第2回社債型種類株式

基準日	2025年3月期			2026年3月期		
	第2四半期末	期末	合計	第2四半期末	期末	合計
1株当たり配当金(円)	—	126円24銭	126円24銭	128円00銭	128円00銭	256円00銭

以上